

見いつけた

令和3年度
立山町立釜ヶ淵小学校
第1学年 学年だより
11月号

思いよ届け！運動会

1年生にとって、小学校で初めての運動会がありました。コロナ禍のため、例年通りの内容にはなかったのですが、100メートル走や玉入れ競技に、わくわくしたり、ドキドキしたりしながら、参加する姿が見られました。どんな思いで運動会に取り組んでいたのか、子供たちの作文から見てみました。

<運動会通し練習>

Tさんの「プラス1（日記）」からです。

きょうは、とおしれんしゅうをしました。とおしれんしゅうでは、たまひれや100メートルそうがありました。たのしかったのは、100メートルそうでした。なぜなら、はしるのが、たのしいからです。ほんばんは、青だんをぬかしたいとおもいました。

「くらしのたしかめ」の時間。勝ち負けよりも、自分より走るのが速い友達と走って、自分の力を試したいという思いを力説していたTさん。応援練習では、背筋をピンと立て、一つ一つの動作にがんばろうという気持ちを込めて、演技していました。また、だれにも負けなくらい大きな声を出していました。100メートル走で自分を試したい。そんな目当てをもって、Tさんは凛として臨むことができたのですね。



<運動会当日>

Uさんの振り返りからです。

わたしは、小学校では初めてのうんどうかいでした。まえの日から、たのしみにしていました。うんどうかいがはじまって、100メートルそうにでました。1いになりました。すごくうれしかったです。はしるのが大すきで、やすみの日もれんしゅうをがんばったからです。…へいかいしきで、「のびのびしょう」をもらいました。きのうのよるから、ほしかったので、ほんとうにもらえて、すごいうれしかったです。おとうさんやおかあさん、おともだちやせんせい、おにいちゃんがおうえんしてくれたから、がんばれました。

前日から、「のびのび賞」をもらいたいと、うんどうかいを楽しみにしていたUさん。100メートル走ではきれいなフォームで、力強く走りました。見ていて、とても気持ちのよい走りっぷりでした。また、家族や周りの人の応援のおかげで賞をもらえたという、謙虚な気持ちもすてきでした。思いがかなって、よかったですね。



一人一人が、心の中に何を描いて臨んだ運動会だったのでしょうか。「くらしのたしかめ」の時間に、強い相手に負けるかもしれないけれど、挑戦していくことが一番の楽しみだと話していた子供たちの心根に、胸が温くなりました。

豊かな心があふれていた運動会。天気に恵まれ、子供たちは、大活躍できました。

収穫の秋 芋掘りだ！

5月中旬に植えたサツマイモと6月中旬に植えたサトイモ。どちらも収穫の時期を迎えました。イモ類は葉物野菜と違い、地中でどのように育っているかが分かりません。ですから、「どんな大きさに育っているのかな」「いくつぐらい収穫できるのかな」などと、わくわくしながら掘ることができます。芋を探り当てた子供たちは、宝箱を見つけたトレジャーハンターのような気持ちになれたのではないかなと思いました。

<サツマイモ編>

サツマイモは、全校児童で育てたもので、1年生は6年生と一緒に掘りました。6年生がスコップで周りの土を持ち上げ、掘りやすくしてくれました。1年生はシャベルで掘った後、両手で大事に土から抜いていました。微笑ましい感じがしました。

Ｏさんの作文です。

わたしは、おいもをほるのがたのしかったです。ほいくしょでは、おいもをひっぱってほりました。小学校では、シャベルとスコップでやるんだとおもいました。シャベルでほるのは、はじめてでした。ほっているとき、おいもがきずつきそうだったので、手でほりました。6ねんせいに手つだってもらって、大きなおいもが見えてきたときには、わくわくしました。



家や保育所で経験した自然体験を基に、今の自分の気持ちと比べて見つめることのできるＯさん。最後までシャベルで掘っていても芋を掘ることができるのに、傷つかないようにやさしい心持ちで、掘ってあげたところに温かさを感じました。自分たちで育てた芋にも、命を感じているからこそその、手掘りだったのでしょう。

<サトイモ編>

6月になっても、学校農園の南側に、何も植えてない畝がありました。そこで、多少時期は遅れるものの、他の学校であまり栽培されていないサトイモを植えることにしました。収穫時には、どのような芋が出てきたのでしょうか。

Rさんの作文です。

さといもが、いっぱいとれました。大きいさといももとれて、うれしかったです。さといもをほったとき、いもからねっこをとるのが、たのしかったです。まちがって、ほったいものかわをむいてしまいました。ほったさといもにはなをちかづけると、とてもいい土のにおいがしました。ふしぎなかたちのものも、ありました。とれたさといもは、ふくろ2つぶんでした。

ミニトマトをたくさん実らせたり、ファミリーパークで、コカマキリを捕まえたりするほどの、自然大好きなRさん。サトイモ掘りは、初めてだったのか、勢い余って芋の皮をむいてしまいました。白い根をプチプチ抜いたり、芋の匂いを嗅いだりしながら、楽しむことができたところがすてきです。2袋も取れて、とても満足いく収穫でしたね。



2日の朝。「先生、おでん食べたら、サトイモのこと、日記に書いてくる！」とSさん。元気のよい大きな声。家庭と学校を繋ぐ何気ないSさんの一言。そこには、Sさんの思いがいっぱい込められていました。だからこそ、温かな家庭のだんらんで、ふうふうしながら、サトイモを食べている様子が伝わってきました。すてきな言葉をありがとう、Sさん！